

FIWC PHILIPPINE

2020 SPRING CAMP



CONTENTS

- 1 はじめに
- 2 F I W C九州とは
- 3 フィリピンキャンプとは
- 4 生活状況
- 5 重要人物紹介
- 6 ミーティングについて
- 7 来年度のフィリピンキャンプ
- 8 感想

1. はじめに

今回の春キャンプは新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、中止することに致しました。また、予定していた TUGAS 村での水道設備の作製・道路の整備のワークは来年度のワークキャンプに延期することに致しました。

辛い決断ではありましたが、キャンパー達はキャンプの準備の期間が長く取ることが出来ると前向きに考え、今は来年度にむけて少しずつ準備をし始めています。

フィリピンキャンプを支えてくださった皆様

本当にありがとうございました！

2020 春キャンプリーダー 日隈実奈美

2. FIWC 九州とは

FIWC 九州は九州(主に福岡)の大学生が主体となり、
学生のみで国内外で国際協力を行っている学生団体で
す。

現在は5つの場所でワークキャンプを行っています。

- 中国キャンプ
- フィリピンキャンプ
- ネパールキャンプ
- インドネシアキャンプ
- 福智町キャンプ



また、国内でも活動をしています。

- 耶馬溪農業キャンプ
- FP (FIWC Party)
- その他

学祭、まんぱ(Monthly Party)、総会、国内合宿 など

Friends
International
Work
Camp

自由な発想で柔軟な活動が出来ることが
FIWC 九州委員会の特徴です。

FIWC は九州の他、関東、関西、東海にも
支部があり、情報交換を行いながらそれ
ぞれが自立した活動を行っています！

3. フィリピンキャンプとは

インフラ整備（水道設備の作製や道路の整備など）を村人と一緒に行うことでの村の自立促進や活性化を目的に、フィリピン共和国レイテ島の北西部にあるタバongo市で年に2回キャンプ（下見キャンプ8・9月（夏休み）約3週間・本キャンプ2・3月（春休み）約1ヶ月間）を行っています。



私達が活動している地域では、蛇口から水が出るような水道の設備ではなく、ポンプから水を汲んで人々は生活しています。昨年度はそのポンプが足りていない地域でポンプを複数個作製したり修理したりしました！！

4. 衣・食・住



衣

フィリピンは雨期と乾季があるが一年中暑く、最高気温が 30°Cを超えるような日がほとんどである。しかし、日本の夏のような蒸し暑さを感じることは少ない。熱中症、日焼け予防として帽子をかぶると良い。山道に入る時は長袖長ズボン、スニーカーなど肌の露出をしないものでないと草まげやケガ、虫刺されの原因となるので注意。



食

フィリピン料理は鶏肉、豚肉、野菜、魚介類などを醤油や塩、味の素で味付けしたものが中心で日本人の味覚に合う。主食は米で大きな皿に盛りつけられたおかずを自分が食べる分だけ取るという形式である。炊き込みご飯やパンシット（フィリピンの家庭料理である麺類）バナナ春巻きは特に美味しい！



住

村の公民館のようなところで、ゴザやマットをひいて床に寝る。風呂は、タライに水をためて手桶ですくい身体や髪を洗う。洗濯は、タライに水をためて粉末洗剤で手洗いする。

5. 重要人物紹介

ロクロクさん

1966年からFIWC 関東のフィリピンキャンプに携わって来ており、FIWC九州が発足してからはずっと九州のフィリピンキャンプとともに活動している現地のエンジニアさん。優しさで笑顔と深い愛に何度も助けられた。みんなのお父さん♡



ベンジョー（市長）

私たちがワークを行うタバngo市の市長。いつも忙しい中私たちに会う時間を作ってくれ私たちを歓迎してくれた。また、私たちの活動を理解してくださり、日本のことが好きでとてもフレンドリーな市長さん。



フランシスコ（村長）

今回のキャンプ地のトゥーガス村の村長。私達を快く迎え入れてくれた。私たちの活動にとっても協力的な村長さん。



6. ミーティングについて

数回のミーティングの中で、村の人のために1番良い方法をみんなで考えたり、キャンプのテーマやキャンプで着るTシャツのデザインを作ったりみんなで話し合いながら行きます！そして終わった後はみんなでごはんを食べに行ったりラーメンを食べたりしていました😊



第1回：11/29(金)19：00～@びおとーぶ

第2回：12/9(月) 19：00～@天神仕事基地

第3回：12/23(月) 19：00～@びおとーぶ

第4回：1/10(金) 19：00～@コワーキングスペース cenco

第5回：1/17(金) 19：00～@cultiate

第6回：1/26(日) 19：00～@びおとーぶ

第7回：1/31(金) 19：00～@びおとーぶ

第8回：2/18(金) 19：00～@びおとーぶ



7. 来年度のフィリピンキャンプ

2020年春キャンプに参加予定だったキャンパーから2020年夏キャンプに参加可能なメンバーを募集したところ、5人のメンバーが集まりました。話し合いの結果、2020年夏キャンプはトゥーガス村をもう一度下見キャンプを行うことに決定しました。

今回の春キャンプに行くことを決意した5人全員が、今回の果たせなかったという悔しさを持ちながらトゥーガス村での事業実行が成功するよう頑張っております。しかし、5人全員がワークの経験が無く、不安な思いもあります。オールドキャンパーの方で少しでもこの夏キャンプに参加可能な方がいらっしゃったらご連絡お待ちしております！また、新キャンパーについては夏の下見キャンプでは募集は行いませんが、春のワークキャンプでは募集を行いますので、少しでも興味ある方はご連絡お待ちしております！

今後もフィリピンキャンプの応援とご協力

お願い致します！



8. 感想

ミナミ

正直、もう一度踏ん張って頑張るぞ！と思ったらコロナなんてこんなことある？ってずっと思っていました。

夏から今まで何度もくじけそうになった。多分何度かくじけてました、あは。そんな時は、よこちんと近所のサニーの前のベンチで深夜にこれからどうするよ、フィリキャン続けたいよって何回も話し合った。そうするうちに、救世主のはる姉がそのサニー前 MTG に参加してくれるようになって最終的にはキャンプにも参加してくれることになった。サニーMTG は今思えばすごい思い出であり出発点です。そしてずっと私を精神的に独りにしないでくれました。2人には特に感謝しかないです。ありがとう。



当時、新キャンパーだったりんか・たいせい・まさびは正直もう行かないって言うんじゃないかなって怖かったです。夏キャンプ思うようにいかなかったのも、でも3人もまた行きたいって言うんです。そりゃもう感動でした。今まで何度も助けられました。りんかがなぜか BOSS って呼ぶのお気に入りでした。3人がいてくれてよかった本当にありがとう。

やっとの思いでここまで来たのにコロナは本当にしんどかった。何が正解が分からなくて、ずーと迷ってました。（相談に乗ってくれた皆さんありがとう）行かないという選択をして、私以上にみんなが辛かったと思います。そんな中お疲れって最後の MTG の後も全員で飲みに行けたのは大切な思い出です。このメンバーでフィリピンに行くことがめちゃくちゃ楽しみだった。中でも心に残ってるのは、最後の MTG が終わったあと新キャンパーの子が、抱きしめたくくなりましたってぎゅってしてくれたことです。本当に心があっ

たかくなりました。今だから言えるけど、そのときの私はフィリピンの村の人、新キャンパー、下見キャンパーみんなに申し訳ない気持ちでいっぱい病むってこういうことなんだって実感していた頃でした。だから、不思議なくらいモヤモヤがスッと降りる感じがして心が楽になりました。20人のみんなありがとう。

話は変わりますが、私今まで何かに熱中したことがありませんでした。小さい頃から、自己紹介とかの趣味の欄がどうしても埋めれないような子でした。でもフィリピンキャンプに出会って大好きなことが出来ました。ほんとこんなに夢中に熱くなれるんや！って自分自身も驚くほどフィリキャンが大好きで。それは本当に去年のサンタローサキャンプのメンバーのおかげです、感謝しきれないです。ありがとうございます。

夏の下見キャンプから帰ってきてすぐは、目の前の事に必死すぎてなんとかこのTUGASキャンプだけは無事終わらせなきゃってことしか考えられませんでした。だから今、次もいきますという声を聞いて、ああなんとか次にバトン渡せたんだなって思い、安心していきます。

行けなかったけど、完成できなかったけど、会えなかったけど、不思議なことに私はなんの後悔もないんですよね。みんなと出会えて、フィリピンキャンプ来年も続くっていうだけでももうほんとにここまでこれで良かった。一緒に頑張ってきてくれたみんなのおかげです、本当にありがとう。

早く大好きな人達と思いきり笑い合っ、ハグできる世の中になりますように。そして次こそフィリピンキャンパーが楽しかった良かったって笑顔で帰国出来ますように。

皆さんありがとうございました。

よこちん

2月から行う予定だったフィリピンキャンプが中止に決まった時、やり場のない悔しさを感じました。悔しさの理由はいくつかあります。困難に直面しながらも継続することができたキャンプを行えなかったこと。自分の人生をより豊かで実りのあるものにするためのキャンプの機会が無くなってしまったこと。キャンプに関わってくれた人々への申し訳ない気持ち。幸せなことに過去2回フィリピンキャンプに参加させてもらい、いろいろな立場からこの活動に関わることができました。フィリピンの人々、FIに関わる人々、家族、友人に感謝し、これからもこのキャンプのために貢献していきたいと思います。



はるか

さて。今年は久しぶりに本気で感想を書こうと思うので、長くなりすぎないかさっそく不安ですね(結果、初めての感想ほどは長くならなかったよ、えらい。)

まず、トゥーガスキャンプについてです。私がトゥーガスに参加しようと決めた理由は3つありました。(もし未来のキャンパーが奇跡的にこの感想を読む気になって、この後の話に全くついていけないよって場合は、前の方にきっとある説明を読んだり、私と直接おしゃべりしたりして追いついてきてね！おしゃべり大歓迎！)

1つ目は、私しかいないと思(い込んでしま)ったからです。キャンプが存続するかどうか議論していく中で、OBOGが介入したほうがいいだろうという話になり、なるほど私がお手伝いしたら大好きなキャンプが続くかもしれない、いつもの癖で、飛び込んでしまったわけです。



2つ目は、そのときキャンプをしたいと頑張っていたメンバーにすごくわくわくしたからです。誰よりも頑張っていた実奈美、精神的支柱だったよこちん、そして初キャンプが思うようにいかなかったにも関わらずそれでも本キャンプに行きたいと言ってくれたりんか、たいせい、まさぴー。そんなキャンパーたちが作るキャンプがいいキャンプにならないわけない、この人たちとキャンプをしてみたい、という、すごくポジティブな気持ちです。

3つ目は、ロクロクさんのためです。私にとってロクロクさんは本当に大きい存在で、ロクロクさんが生きがいにしていて人生の使命だと感じてくれているものがなくなってしまうのは娘として耐えがたかったのです。どうしても、守りたかった。

そんなこんなでトゥーガスキャンプに参加することを決め、実奈美と話をする時間が増え、より仲良くなって、尊敬の気持ちがどんどん大きくなって、いつの間にか、実奈美とキャンプがしたい、実奈美がやりたいことを実現させたい、というのがわたしのトゥーガスキャンプのモチベーションになりました。とはいえ、突然あれはだめこれをやれそれはこうと文句しか言わない4年生が乱入してきたにも関わらず、「下見キャンパー」として受け入れてくれた下見キャンパーには感謝の気持ちでいっぱいです(私なら無理笑)。

そんな、私にとってこれまでとはまた違う思い入れのあるキャンプができなくなったのは本当に悔しいです。どうしても、どうしてもこのメンバーでこのワークがしたかった。個人的にも頭から参加できるワークキャンプは1年生ぶりだったので、そういう意味でも悲しかった。もし行っていたらとんでもないことになっていたってわかった今となっては、あの時あのタイミングで苦しい決断をしてくれた実奈美には頭が上がりません。

そして、このキャンプを進める中で、たくさんの人に助言をもらったり支えてもらったり愚痴を聞いてもらったりしました。協力してくださったすべての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。個人的 Special thanks ふーた、ぽんちゃん、こうちゃん。

さて、話は大きくなり、FIとワークキャンプについてです。もうたぶん私が真面目に書くことはないだろうと思うので、改めて書き記しておこうと思います。

わたしは、委員長のポジションからも、フィリキャンのリーダーのポジションからも、その時々で体裁のいい理由を見つけては逃げてきたFI人生だったな、と思っています。私がそうではない選択をしたことには一片の悔いもありません。2年生の時に



フィリピンの農業の現場を見たからこそ今の将来設計があるわけで、3年生の時に係みんなで創りあげた耶馬溪キャンプでやりたかったことはやりつくしました。せっかくの打診をお断りしてしまった申し訳なさ(とちょっとした憧れ)は消えませんが。



そんな私は、このトゥーガスキャンプでやっとこれらの重みが分かってきたように思います。病院からゆうきちゃんに電話をかけたときに、初めてふーたが背負っていたものの大きさを知りました。実奈美とたくさん話をしてキャンプを進めていく中で、初めてりょうの本当のすごさがわかりました。4年FIのメンバーをしていて、やっと、やっと認識しはじめました(本当の意味で「わかる」ことはできないけれど)。それを知りもせず、好き勝手やらせてくれていたみなさんへ、最大の敬意と感謝を伝えたいです。ありがとうございました。

全キャンプの中止。メンバー構成の変動。様々なことがあって、ワークキャンプやFIに不安を持っている人も少なくないと思います。その不安は大事にしてほしい。そのうえで、やっぱりわたしはワークキャンプをあきらめたくないし、FIWC九州が大好きです。



わたしにとって、ワークキャンプは、多様な人(キャンパー同士も含まれるよ)が、1つの場を共有していくなかで、互いの間にある、使う言語、住んでいる国、所得、性別、通ってきた過去、etc(漢字で要約すると社会的構造)の先にある(社会的構造を意識的無意識的に横に置く、あるいはその違いを打破する)、「人」と「人」しての対話を行う空間、だととらえています。ワークキャンプには、ほかの形態にはない可能性や力があると信じています。(また、フィリキャンにとってはインフラ整備のワークがその「場」であり、より多くの人がこの「場」に参加してくれるためには、より重要性が高くかつわたしたちだからこそこの「場」にこだわるべきだ、という私の主観をここに書き捨てておきますね。とはいえ、自分たちの安全あってこそだし、思考を停止せずに、変化を恐れずにいてほしい、とも思います。無責任ですね。本当に前述の重さやすごさがわかってるのでしょうか。)

だからこそ、FIWCは「人」、「相手」を何よりも大事にする団体であってほしい、そして、「ワークキャンプ」にこだわっていてほしい、と願っています。ワークキャンプのもつ双方向性に魅せられ、ここに集う人に魅せられ、ワークキャンプに魅せられ、フィリピンに魅せられ、いつの間にか4年も居座ってしまいました。これからも、ここに集う人たちみんながわくわくしてしてほしいなと思います。



FIWC九州に、ワークキャンプに、フィリピンに、出会えてよかったです。ここでいただいたすべてのご縁と愛に、daghang salamat.

りんか

はじめに、今回のフィリピンキャンプの応援、協力していただいた皆さんに感謝申し上げます。

私はこの2020年春キャンプに対して、悔しいという想いがあります。もちろん、みんなとのミーティングの中で得られたものは大きく、成長した部分もたくさんあります。それ以上にせっかくこのメンバーに出会えて、力を合わせて準備してきたものがこのような形で行けなくなったことにとっても、悔しさを感じています。私自身には次のチャンスがあります。でも、このメンバーで行けるチャンスは無くなりました。行けなくなった2020年春キャンパーの想いを繋げることができるように精一杯、そして、この悔しいという想いがいつか村人の笑顔に変わるように頑張りたいと思います。



フィリピン、トゥーガス村での事業は終わっていません！まだまだこれからです！

2020年夏キャンプ、2021年春キャンプ、精一杯頑張りますので、応援よろしくお願ひします！悔いのないキャンプができますように…

たいせい

前回の下見キャンプに引き続き2回目のフィリピンキャンプでした。前回の下見キャンプでの悔しい思いを晴らすべく、よちんと一緒にワークリーダーという責任あるポジションに名乗りを上げました。「よっしゃ！ここでひとつ自分を成長させてやろう！」と毎日ワクワクして、今にもフィリピンへ飛び立ちたい！あの人たちに会いたい！と毎日フィリピン人の写真や動画を振り返ってテンションが上がっている時期に、まさかのコロナウイルスという悪魔が登場。本キャンプは残念ながら延期になってしまいました。あの村人たちの笑顔をもっと増やしたい。またあの元気いっばいの子どもたちに会って一緒に遊びたい。自分たちのワークを一から完成させたい。その一心でこの春まで頑張ってきましたが、本キャンプの延期が決まり内心めっちゃめっちゃショックでした。しかし、私はこの状況を決してマイナスに捉えず、プラスに捉えたい！と思うようになりました。次のワークまでにもっと色々な知識を一人一人がこの期間で十分に蓄えて、次の本キャンプが村人にとって最高のワークにできればいいなと思いました。

今回、この大好きなフィリピンキャンパーの21人とワークを行えなかったことはとってもとっても悲しかったですが、この悔しい経験をバネにして、もっと素晴らしいフィリピンキャンプに成長させるために、今度は私が下の人たちを引っ張り、フィリキャン史上最高のワークを完成させられるように頑張りたいです。



まさび

今年の春、自分たちはフィリピンの tugas 村に水道設備や道路整備に行く予定だったがコロナの影響により行くことができなくなった。行けないことが決定した直後は、素直に悔しいと感じた。今まで21人でやってきた MTG や下見キャンパーで考えてきたこと、全てが水の泡になったように感じたからだ。そして何より、夏に行ったときに絶対にワークを成功させる！と決意し



て望んだ春キャンプだったので消化不良で終わったことがとても悔しく、やるせない気持ちになった。

でも今は少し違う。なぜなら来年度にもう一度行きたいと言ってくれるメンバーがたくさんいたからだ。下見キャンパー以外にもまだ行ったことがないキャンパーが行きたいと言ってくれたので、そのときみんなで行ってきたことは無駄じゃなかったと感じることができた。自分は今年から3年生という立場で、次行くのは難しそうだけどこのワークを絶対成功させるという意味が次に受け継がれて来年？コロナの影響でいつになるかは分からないけど、いつか現実になることを願っている。

追記として今回のコロナの件でキャンパーの安全を確保することは何よりも大切だと改めて感じた。コロナは今後どういう具合に落ち着いていくのか不明だけど、コロナ以外にも安全管理はきちんと行ってリスクマネジメントできた上で安全にキャンプを行えることを願う。

やたろー

みんなとキャンプができなかったこと、村人と会えなかったことはとても悔しいけど、みんなとキャンプの準備を始めた去年の11月からが本当に楽しくて、それだけでも参加して良かったと思っています。みんなとの思い出や出会いは僕の宝物です。これからもよろしくね！



ななこ

私がフィリピンキャンプに参加しようとしたきっかけは、FIWC九州の本キャンプに参加したかったからです。私はもともとネパールキャンプに参加したことがあり、その経験もフィリピンキャンプで活かしたらいいなと思って参加しました！



ミーティングで話し合いを進めるうちに、キャンプに対する思い入れが強くなり、このメンバーと一緒にキャンプを成功させたいと思っていました！

今回は残念ながらコロナの影響で行けなくなってしまいました。この悔しさを晴らすために、いつかフィリピンにいきます！

あいわ

今回、私は初めてフィリピンキャンプに参加した。初めての国でどんなことが待ってるんだろうってワクワクした。でもフィリピンキャンプはバリピ多そうだから不安だなとも思った。でも海外の村で生活できて、普段考えないことをたくさん考えさせられて現地人化できちゃうっていうキャンプは出来るうちにやっぱりやりたいなって思って参加することにした。ミーティングを重ねて学年を問わずみんなで色々なことを考えてFIって、自分たちってすごいことしてるなって感じた。



今回は実際に渡航することは出来なかった。私は正直実感が持てなかった。タイミングの悪さと自分たちにはなにもできないっていう現状がウソかなって何度も思った。

私は、今回のキャンプミーティングでキャンパーとたくさん意見交換したり話したりすることができなかった。キャンプ生活していく中でやっていこうと、先のことをぼんやり考

えて色々な人に甘えてきた。すごく後悔した。キャンプ行けなくなったのは悔しいけど私は国内での準備すらしっかりできてなかったと実感した。そしてFIのキャンプは行かなくても経験を増やしてくれるんだと思った。

なにかまたやってみよう！となったときに、このことを生かせられたらいいなと思う。

ほのか

フィリピンキャンプが中止と決まってはや2ヶ月が経ってしまいましたが、今でも「フィリピン行ったら自分はどうなって、どう変わって、少しでも成長しとったのかな」とふと思う時があります。自分がキャンプに参加したいと思い始め、フィリピンキャンパーとなりミーティングを重ねていくうちに日に日にはやく行きたい！という気持ちは強くなって行きました。そんな矢先コロナウイルスが蔓延し始め、最初は「フィリピンキャンプは大丈夫だろうし、決行するだろう」と軽い気持ちで考えていました。ですが、いざ中止ということに決定すると、心の中にぽっかりと穴が空いてしまった感じがしました。正直悔しいという感情が強かったです。



ミーティングを何度も重ねて、フィリピンの現状や私たちが村人のために何が出来るのかをたくさん考えてきた時間は無駄じゃなかったなと今なら思えます。私は新キャンパーで先輩方の背中を見て、「こんな考え方があるんだな」「こうすればもっと効率よく上手く事が進むんだな」などほんとに多くのことを学ばせていただきました。大人が介入しないでこんな凄いことを成し遂げようとしている場面に自分も立ち会っているんだと分かった時、嬉しく思ったことを鮮明に覚えています。

私が知らない間に多くの準備をしてきて下さっていたリーダーの方々本当にありがとうございました。キャンプには行けなかったけれど、これまでフィリピンキャンパーの皆さんと出逢えて、共に過ごした時間はとても有意義なものでした！！この経験を一生忘れません。ありがとうございました！

かめ

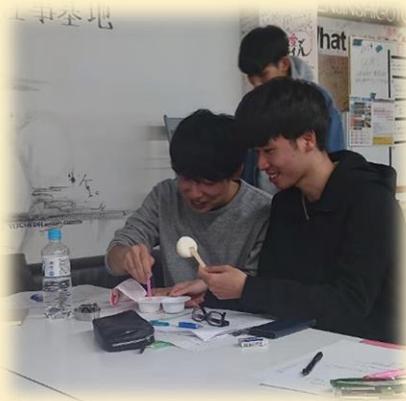
初の海外、初のキャンプでとても楽しみにしていた。春のキャンプに参加する予定だったが、コロナ感染拡大防止のためにワークに行くことができなくなってしまった。とても残念で悔しい。でも、実際にフィリピンに行くことができなくても学んだ知識は決して無駄ではないと思う。そして、フィリピンキャンプの素敵な仲間と一緒に活動出来たことにとても意味があったと思った。夏のキャンプは家庭の事情で参加できないが、また春のキャンプでベンジ出来たらと思う。キャンパーのみんな大好きです。ありがとうございました！



せいや

今回みんなでミーティングをしていってフィリピンに行くのが日に日に強くなっていきました。海外なんてはじめてだから余計にテンションもあがってましたー。

だからコロナでなくなったのは、ばり悔しかったけど、来年にもう一度挑戦してみて今度はよりいっそう楽しんでいきたいです。



ぽぽ

みんなでフィリピン行きたかった〜1ヶ月一緒に生活したかった〜っていう思いでいっぱいです。下見の皆さんの頑張ってる姿とってもかっこよかったです。ありがとうございました。



いよなが

今回、実際にフィリピンに行く事が出来なかったがミーティングを通して学んだことが3つある。

1つ目は、フィリピンと日本の違いである。もちろんミーティングに参加する前もフィリピンは日本より貧しくキャンプで行く場所は水に困っている農村部だということは知っていた。しかし、フィリピンでは狂犬病やA型肝炎などの日本ではあまり馴染みが無いが危険な病気があることまでは知らなかった。だから、ミーティングでも安全対策をみんなで読んだりフィリピンで何か起きた時の対処法を練習したりして安全について深く意識することができた。また日本はとても恵まれた国だなと感じることもできた。

2つ目は、みんなで話し合うことの大切さだ。初キャンパーの私はまだ分からないことが多く不安で、最初のミーティングはキャンパーと上手く話せるか心配だった。しかし、ミーティングでは一人一人に意見を聞く時間やグループになって話し合う時間を設けたりして話しやすかったし、キャンパーとコミュニケーションをとることができて良かった。そしてミーティングを重ねるうちにキャンプが楽しみになっていった。

今回残念ながら、フィリピンに行くことはできなかったがミーティングを通してキャンパーと仲良くなってたくさんの事を学ぶことができたのでフィリピンキャンプのために費やした時間は決して無駄ではないと思う。これから、自分のやりたいことを見つけて挑戦していきたい。



あおい

今回のフィリピンキャンプは、実際に行う事は出来ませんでした。が、キャンプのメンバーと自分達に何が出来るか真剣に考え話し合った時間は私にとってとても大切な物になりました。ミーティングを重ねれば重ねるほどFIWCの活動に興味湧き他の企画にも参加したいと思いました。、キャンプが多くの人々の力で成り立ってる事がよく分かりました。皆さん本当にありがとうございました。



じだん

まず参加を決めた理由は、春休み何も予定なかったから(笑)正直、春休み無駄にはしたくなかった！充実させた春休みにしたかった！

自分は全部の話を聞いて、どこのキャンプにするかめちゃくちゃ迷ったけど、フィリキャンは、以前、橋をつくったとか聞いて、大学生でもこんなことできるんだなおもって、とてもフィリピンキャンプに魅力を感じて選んだ！やっぱり今しか出来ないこと、大学生の内では出来ないことって沢山あるから、その中で一つでも何か経験しようと思ったから参加希望をした！！



キャンプに行くにあたって、MTG が何度もあって、毎回の MTG が、とても楽しかった！MTG 後に皆で飲みに行ったり、ご飯行ったりするのがとても楽しかった！MTG を重ねる内、突然来たのがコロナウイルス。そして、コロナウイルスによりキャンプに行けなくなった時は凄く悲しかった。突然の出来事でなかなか受け入れがたかったけど、こればかりはしょうがないって思った。だって誰のせいでもないし。でも、現地の人とかのこととか皆のこと考えると行かない選択は本当に正しかったと思う！そして、一番の思い出は 21 人みんなで MTG を沢山して、いっぱい話すことが、できたから悔いはない！！とても個性が溢れていて凄く居心地良かったって思う！

最後になるけど、皆も、今しか出来ないこと、大学生だから出来ること、唯一、自由に過ごせるのは大学生の内だと思うよ！だから色々なことして、時には失敗もして沢山の経験を積むことが大切だと思うよ！

そして、このような機会をつくってくださった皆さん本当にありがとうございます！

ひろし

キャンパーのみんなと MTG を重ねていくうちに多くの人の色々な思いに触れることが出来て海外に行ったことがない自分にとってとても新鮮なことばかりでした！実際にワークキャンプに行くことは出来なかったけれど沢山考えて沢山学ぶことが出来たと思います！来年度もフィリピンキャンプに参加させて頂くつもりなので、キャンパーや村人たちとたくさんコミュニケーションをとってワークを成功させることができるように協力して頑張っていきたいと思います！ありがとうございました！！



ゆず

初めてフィリピンに行こうとしたきっかけはみなみさん(キャンプリーダー)からのお誘いでした。以前からボランティアに興味があり大学生のうちにいけたらいいなと思っていました。説明会が西南であるときき行ってみることに。とってもみんな優しく気さくに話しかけてくださって私もフィリピンに行こうと決意しました。最初、フィリピンいくの不安でもキャンパーの思いとか決意とか聞いてるうちにフィリピン行こうと思ってよかったなと改めて思いました。私は意見とか人前でいうのが苦手で、思ったことをうまく伝えられなかったのが悔しかったです。楽しかったことはキャンパーのみんなと仲良くなれたこと！そのぶん行けなくなった時は悔しかった。私はフィリピンのことたくさん知っただけでまだやり残せていない、役割を果たせていないのでもう一度挑戦してみたいと思います！



だいち

フィリピンでの活動が中止と決まり気づけばもう2ヶ月経ってしまいました。行けるに超したことはないけれど、僕はこの21人で集まって話し合い作り上げてきたものは形は違ってもまた別の所で必ず繋がっていくものであると今振り返り、改めて感じました。

僕がこの活動に参加するようになったきっかけは英語の授業でよちんとみなみがこのフィリピンキャンプの活動の紹介をしてくれたことです。今までは海外どころか留学にも全く興味がなかったのに話を聞いた時に他の人とは違うようなことをしたら何か自分が変わるかもしれないとふと思い、参加を即決しました。2人のおかげでふつうに生活してたら会うはずのない仲間と出会え、色んな考え方に触れ、考えたこともなかった国のことについてこんなに真剣に話し合い、向き合えたことは何気なく大学生活を送っていたら得ることのできなかつたものだと思うのでみんなにも2人にもめっちゃめっちゃ感謝しています！ほんとにありがとう。みんなで話し合って積み重ねてきたものがちょっとでも次のキャンプに活かされ、引き継がれたら嬉しい限りです。暇になったらまた集まりましょう！ありがとうございました！





Instagram もしておりますので、是非
見てみてください♡

新入生の皆さんも質問なども DM いた
だけたらと思います！